

修理サービスについて

故障とお考えになる前に14ページに従って調べていただき、なお異常がある時は、使用を中止し、コンセントから電源コードを抜いてから、ご購入先にご連絡ください。

1.保証書（別に添付してあります）

お買い上げの際に保証書を販売店からお受け取りになり、「お買い上げ日」、「販売店名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.保証期間中に修理を依頼される場合

この商品の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

3.保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。修理により製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

4.その他のご不明な場合

保証期間中の修理など修理サービスについてのご不明な点は、ご購入先またはフジ医療器サービス網までお問い合わせください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこのFA9000の補修用性能部品の、製造打ち切り後、最低6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フジ医療器サービス網

本社	〒556-0005	大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号
札幌営業所	〒003-0013	札幌市白石区中央3条2丁目1番50号 M32BLD
帯広営業所	〒080-0013	帯広市西3条南15丁目11番地
仙台営業所	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目9番地19
青森営業所	〒030-0845	青森市緑2丁目14の1
盛岡営業所	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字穴口57番地9
秋田営業所	〒010-0943	秋田市川尻御休町14-43
山形営業所	〒990-2331	山形市飯田西1丁目2-14 ベルソーレ山形1F
福島営業所	〒963-0205	福島県郡山市堤1丁目131-2 ドウエルY
東京営業所	〒165-0034	東京都中野区大和町1-11-12
埼玉営業所	〒330-0021	埼玉県さいたま市東大宮5-29-8
千葉営業所	〒260-0842	千葉市中央区南町3-2-1 青木ビル2F
神奈川営業所	〒243-0017	神奈川県厚木市栄町1-12-17
山梨営業所	〒400-0047	山梨県甲府市徳行4丁目6番10号
高崎営業所	〒370-0047	群馬県高崎市高砂町71番地10
長野営業所	〒390-0842	長野県松本市征矢野2丁目7番16号 上條ビル
新潟営業所	〒940-2111	新潟県長岡市三ツ郷屋2-1-15
土浦営業所	〒305-0021	茨城県つくば市古来1452-1 五頭ビル2FB
栃木営業所	〒321-0901	栃木県宇都宮市平出町1291-1 グランドコーポ・ヒライデ1F
名古屋営業所	〒452-0805	名古屋市中区市場木町472番地
三重営業所	〒514-0817	三重県津市高茶屋小森町392-4
岐阜営業所	〒500-8212	岐阜市日野南4-17-3
静岡営業所	〒422-8021	静岡市小鹿813-1
金沢営業所	〒920-0362	石川県金沢市古府1丁目217番地 3F
富山営業所	〒920-0362	石川県金沢市古府1丁目217番地 3F
福井営業所	〒910-0011	福井市経田1丁目304
大阪営業所	〒556-0005	大阪市浪速区日本橋5丁目5番21号 本社ビル1F
京都営業所	〒601-8133	京都市南区上鳥羽藁田23
神戸営業所	〒673-0003	兵庫県明石市鳥羽1311-3
和歌山営業所	〒640-8272	和歌山市砂山南2丁目7-18
広島営業所	〒734-0015	広島市南区宇品御幸3丁目2-2 安井マンション1F
岡山営業所	〒703-8216	岡山市栄甘62-3
松江営業所	〒690-0011	島根県松江市東津田町1731-10
鳥取出張所	〒380-0821	鳥取市瓦町707
山口営業所	〒754-0002	山口県吉敷郡小郡町大字下郷3374-3
高松営業所	〒761-8071	香川県高松市伏石町317-1
松山営業所	〒791-1114	愛媛県松山市井門町556の1番地
高知営業所	〒781-5102	高知市大津甲515-1
福岡営業所	〒816-0088	福岡市博多区板付6-12-63
熊本営業所	〒862-0935	熊本市御領5丁目2番109号
大分営業所	〒870-0882	大分市竹の上4組
鹿児島営業所	〒891-0113	鹿児島市東谷山3丁目16-4
宮崎営業所	〒880-0867	宮崎市瀬頭2丁目11-1
長崎営業所	〒851-2126	長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷2005-2
沖縄出張所	〒902-0073	沖縄県那覇市楚辺2丁目33番18号 沖縄経済連生活部内2F
九州商事営業所	〒816-0088	福岡市博多区板付6-12-63

※住所・電話番号は、ご通知なく変更することがありますのでご了承ください。



〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-5-21

部品コード **223250**

部 品 名 トリツ(シケン)FA-9000

お客様相談窓口

フリーダイヤル

0120-027612

受付時間:月曜～金曜午前10時～12時、午後1時～5時

※但し、祝祭日は休ませていただきます。

お客様へ…ご購入年月日・ご購入先名を記入されておくとう便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入先名	TEL		

FAX、E-mailでの受付も行っております。

■FAX番号:06-6644-9103

■E-mail:fj_soudansitu@fujiiryo.co.jp

※FAX、E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

FUJIIRYOKI

取扱説明書(操作編)

「正しくご使用していただくために」

このたびは、電位治療器(FA9000)をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
〈FA9000〉での健康づくりと、
末永いご愛用を
心よりお願い申し上げます。



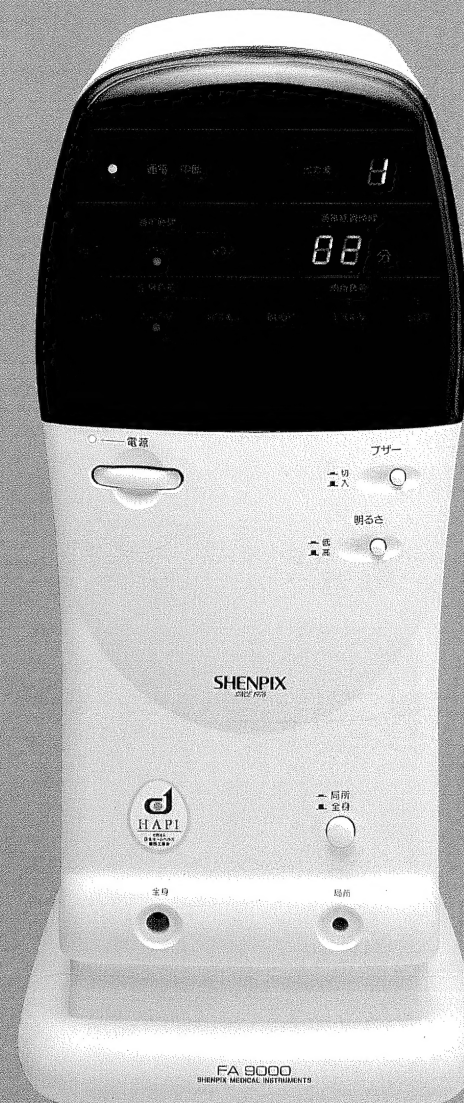
ご使用の前に必ずこの取扱説明書(操作編)と別冊の取扱説明書(安全編)をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

■そのあと、いつでも取り出せる場所に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入をご確認のうえ、販売店から受け取り大切に保管してください。

目次

安全のために必ずお守りください …1	
FA9000の基本原理・効能効果 ……3	
ご使用のプランについて ……4	
各部の名称とはたらき ……5	
ご使用方法 ……7	
全身通電の操作方法 ……9	
局所通電(電子ローラー)の操作方法 ……11	
電界式検電器について/■仕様 ……12	
乾電池の入れ方/お手入れと保管の仕方 ……13	
故障とお考えになる前に ……14	
修理サービスについて ……裏表紙	



電位治療器を正しく安全に、また良好な状態でお使いいただくために、別冊の（安全編）をよくお読みのうえ、この（操作編）をよく読んで正しく安全にお使いください。

■品質、性能向上、その他の事情で部品を変更することがあります。その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

取扱説明書(安全編)……安全のためのご注意

（安全編）に示した絵表示は、電位治療器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または、物的損害が想定される内容を示します。

絵表示例



記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

■**注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しています。必ずお守りください。

■お使いになっている治療器をお貸しになるときは、新しく使用される方が、安全な正しい使い方を知るために、必ず取扱説明書(安全編)(操作編)を治療器と共にお渡しください。また治療器を譲渡されるときは、同様に取扱説明書(安全編)(操作編)と共に保証書もお渡しください。

あらかじめ、取扱説明書(安全編)をお読みください。

FA9000を安全にお使いいただくために



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または、物的損害が想定される内容を示します。



全身用と局所用のどちらかを選びおひとりでのみご使用ください。

体調は人それぞれ異なります。体調にあった時間、出力電圧でご使用ください。



初めてお使いになる方は、最初から長時間のご使用はおやめください。

4ページの「ご使用プランについて」をよくお読みのうえでご使用ください。無理なご使用は体調を悪くする原因になります。



リモコンは手元に置き、不測の事態に対応できるようにお使いください。

リモコンは乳幼児の手の届かない場所に保管してください。



通電中は他の人に触れたり触れさせないように、また周囲にある金属物に触れないようにしてください。

痛みを伴う刺激を与えることもあり、思わぬ事故の原因となることがあります。幼児が近くにきたときは通電を止めるようにしてください。



電子ローラー(局所通電)の使用は、次のことを必ずお守りください。



治療目的以外には、使用しないでください。

事故の原因となります。



頭部・顔面・口中・陰部には使用しないでください。

頭痛、炎症、感電などの原因となります。



先端部での同一局部(肌に直接使用)には2分以上の使用はおやめください。

皮膚の弱い方は炎症の原因となります。



浴室などの湿度の高いところや、入浴しながらの使用はしないでください。

事故の原因となります。

生命恒常性(ホメオスターシス)と自然治療力

現代の西洋医学では、検査によって臓器などの異常を発見し、その診断名に基づいて治療するというのが基本となっています。ところが、今日のようなストレス社会に多く見られる頭痛、肩こり、不眠症、慢性便秘などの半健康の状態については、検査でも異常所見が発見されにくく、「病気ではない」と診断されることが多いのです。

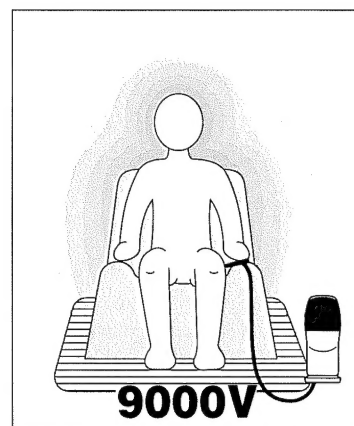
これに対して、東洋医学では「五臓六腑」という概念があり、これらのすべてが正常に機能し、よりよいバランスを保っている状態(生体恒常性：ホメオスターシス)を「健康」と考えます。このバランスが崩れると、身体に痛み、こり、ほてり、冷えなどのさまざまな症状が現れます。この状態を病気が発病する前兆の「未病」、あるいは「半健康」ととらえ、人間の持つ自然治療力をより高めるために、古来から漢方薬やハリ、灸、按摩などさまざまな治療法が行なわれていました。

この東洋医学の発想と、西洋医学をうまくミックスしたのが現代物理療法です。物理療法機器にはさまざまな種類があり、病院などでも数多く活用されています。この中で家庭でも手軽に使用できるように作られたものが、シェンペクスの電位治療器です。

シェンペクス電位治療器の原理とはたらき

シェンペクスの電位治療器は、電氣的に絶縁した身体に交流電位を与えて※1、身体周囲に電界を発生させ、その電界が生体に与える好ましい作用(生体電気作用)を利用した医療機器です。

シェンペクスの電位治療器により発生した身体周囲の電界は、皮膚の感覚受容器を刺激し、その刺激は神経を介して、最終的に脳の視床下部という自律神経系などの身体調整機構に働きかけます。その結果、身体は生体恒常性(ホメオスターシス)を保つようになり、頭痛、肩こり、不眠症、慢性便秘などの不快な症状を改善できるようになります。



※1 電流はほとんど流れませんので、ビリビリするような刺激は全くありません。ただし、絶縁されていない他の物に触れないで下さい。痛みを伴う刺激があります。

効能効果

頭痛に

頭痛で悩んでいる方



肩こりに

肩がこりやすい方



不眠症に

夜眠れない方



慢性便秘に

便秘がちな方



〈FA9000〉は3500ボルト～9000ボルトの高電圧を使用しますが、
体に電流を流すのではなく、
高圧電界でそっと体を包みますので、
危険なことはありません。

全身用か局所用のどちらかの通電方法を選び、おひとりでご使用ください。
ご自分の体調にあわせて、時間と出力を調整してご使用ください。

全身用

●通電時間、出力電圧の選択

治療の時間と出力は、長く強ければ良いというものでもありません。FA9000は短時間でも効果が得られるように設計されています。

■通電時間(3段階) 15分・30分・60分

■出力電圧(3段階) 低3500V・中7000V・高9000V

●出力波の選択

出力波は1・2・3の3種類があります。これは体に慣れをおこさせないためにお使いいただくものです。

電圧の切換えも同様な効果がありますが、同電圧でご使用の場合は、1週間ごとに必ず出力波は切換えてご使用ください。

●初めての方は

短時間(15分)低電圧(3500V)より始め、
体調にあわせ時間を長く、
電圧も上げてご使用ください。

※幼児・高齢者・虚弱体質の方は
短時間・低電圧にてご使用ください。

●通電例

(表は一例です。体調にあわせてご使用ください。)

使用プラン	出力電圧	出力波	時間設定
1 週目	低(3500V)	1	15分
2 週目	〃	2	30分
3 週目	〃	3	60分
4 週目	中(7000V)	1	15分
5 週目	〃	2	30分
6 週目	〃	3	60分
7 週目	高(9000V)	1	15分
8 週目	〃	2	30分
9 週目	〃	3	60分
10 週目	選択	選択	選択

局所用

付属の電子ローラーの先端部で、首筋、肩、腰などの局部治療、側面のローラーで局部周辺をムラなく転がせる治療ができます。

■出力電圧は 800V・1200V・1500Vより
選択してご使用ください。

危険ではありませんが、多少の刺激を伴いますので、初めての方は800Vよりご使用ください。

■通電時間は5分で自動的にストップします。

■先端部での治療

●同一局部2～3分の目安でご使用ください。

また、肌に直接の治療は、2分以内でご使用ください。



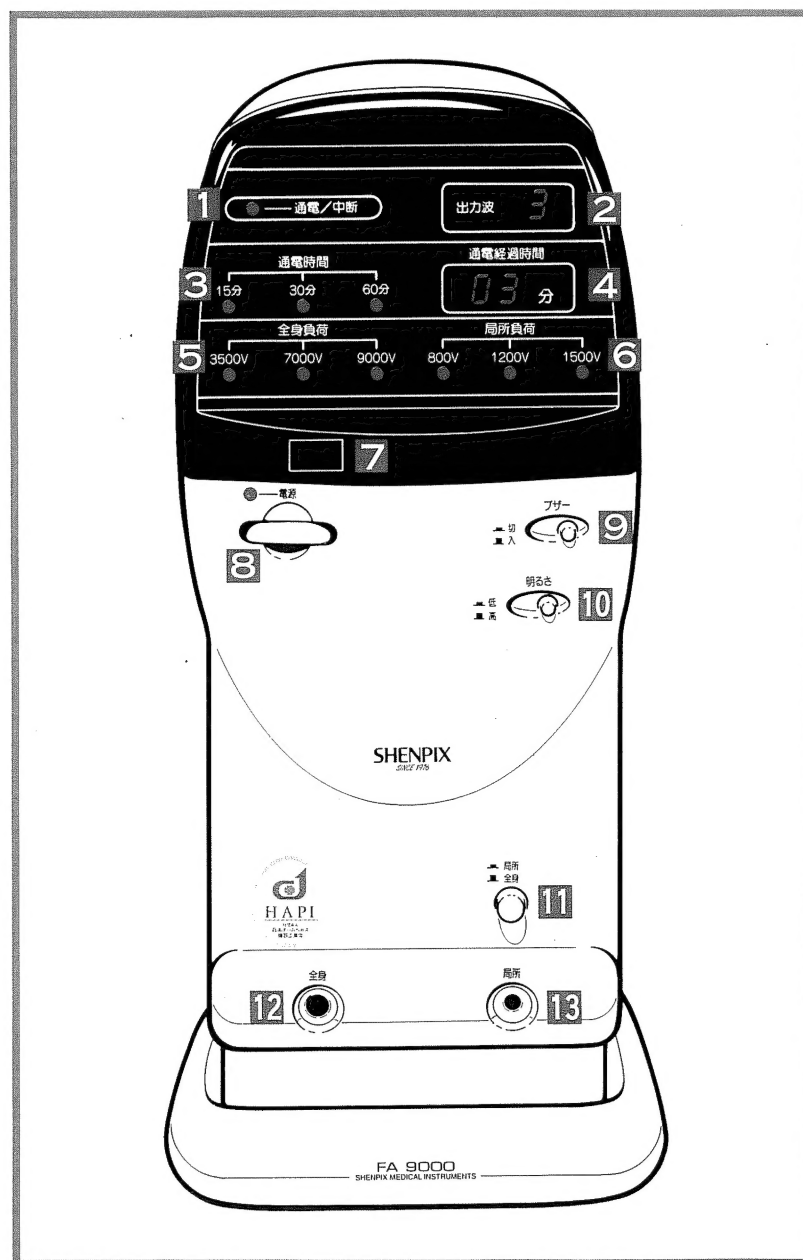
ご使用中に体調がおかしいと感じたとき

- 安全のため、ただちにご使用を中止してください。
- 次回は、短時間(15分)・低電圧(3500V)からご使用ください。
- 同じような状態が続くときは、回復するまでお休みください。
または〈お客様相談窓口〉にご相談ください。

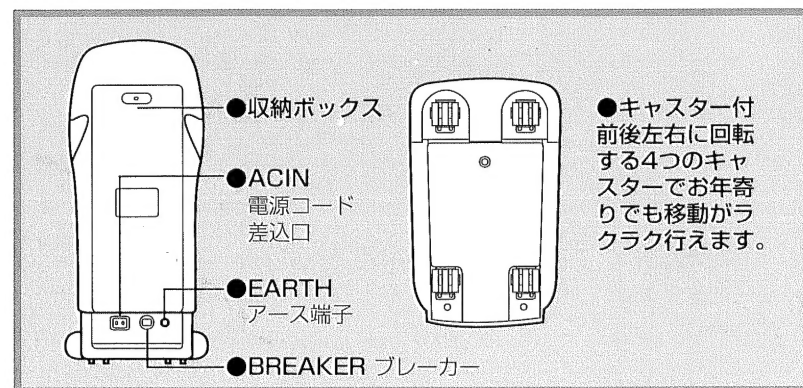
身体の反応について

通電すると身体全体に高電圧がゆきわたり効果が現われますが、人によっては、まれに身体が重たく感じられたりかゆみの症状が現われる方がいます。これは「通電反応」と呼ばれるもので、通常は1週間以内になくなります。なくなる場合は〈お客様相談窓口〉か医師にご相談ください。

本体装置



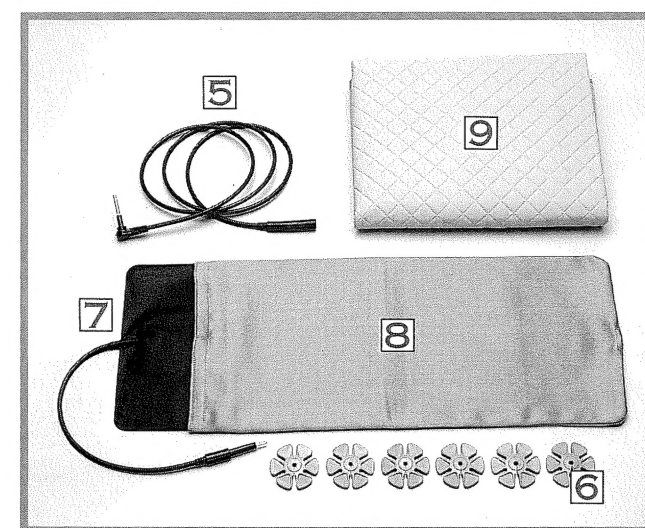
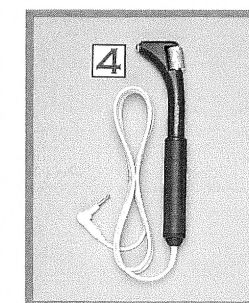
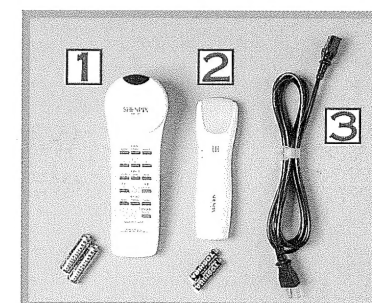
■本体裏面・底面部



- 1 通電／中断表示 (リモコン使用)**
通電中にはランプが点灯し、中断した時は点滅します。
- 2 出力波表示 (リモコン使用)**
1・2・3の3種類の出力波を表示します。
- 3 時間設定表示 (リモコン使用)**
選択した、15分、30分、60分の時間の下にランプが点灯します。
- 4 通電経過時間表示**
経過時間が1分ごとに表示されます。中断した時にはランプが点滅します。
- 5 全身負荷出力電圧表示(リモコン使用)**
選択した、3500V、7000V、9000Vの電圧の下にランプが点灯します。
- 6 局所負荷出力電圧表示(リモコン使用)**
選択した、800V、1200V、1500Vの電圧の下にランプが点灯します。
- 7 リモートセンサー**
リモコンの発信の受信をします。(リモコンの使用範囲は直線で5メートル以内です)
- 8 主電源スイッチ**
押すと左上にランプが点灯します。再度押すとストップします。
- 9 ブザースイッチ**
▲と出たままだと入力操作時及び通電終了時にピピピというブザー音が鳴ります。■と押すと通電終了時のブザー音が消えます。
- 10 表示画面の明るさ表示スイッチ**
▲と出たままだと明るく、■と押すと暗くなります。
- 11 全身、局所負荷切換スイッチ**
▲と出てる場合は全身用、■と押した場合は局所用です。
- 12 全身高圧出力口**
高圧コードを接続します。
- 13 局所高圧出力口**
電子ローラーのコードを接続します。

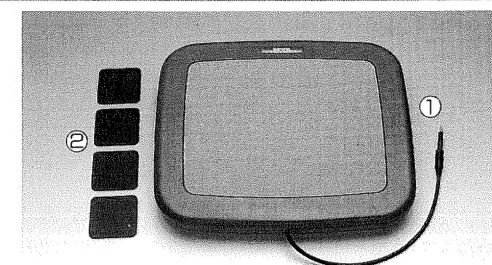
〈FA9000〉の全身用の治療電圧は「3500V」「7000V」「9000V」の3段階に分かれています。
局所用(電子ローラー)は800V・1200V・1500Vの3段階で電圧は実効出力です。
必要に応じて説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

付属部品

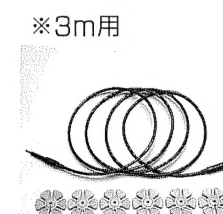


- 1 リモコン送信機15key(単3乾電池2個)**
使用範囲は本体より直線で5メートル以内です。
- 2 電界式検電器(単4乾電池2個)**
絶縁状態・通電状態・電界強度を確認する時に使用します。
- 3 電源コード**
本体装置と家庭用コンセントを接続します。
- 4 電子ローラーF**
局所の治療に使用します。
- 5 高圧コードF**
通電シート(または通電プレート)と本体を接続します。
- 6 コードリフターF 6個**
高圧コードを床から浮かせ、通電中の振動音を防ぐために使用します。
また、高圧コードをより絶縁する効果もあります。
- 7 通電シート**
全身通電をする場合に使用します。
- 8 通電シートカバーF**
通電シートを保護します。
- 9 絶縁シートF**
通電中に人体から他へ高電圧がもれないよう絶縁します。

別売品



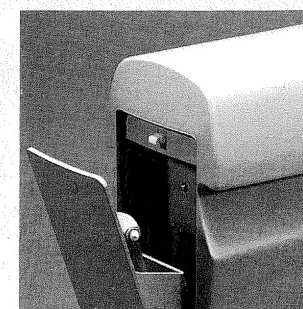
- ▲通電プレートFセット
いすに座りながらご使用になる場合にお求めください。
①通電プレートF ②絶縁バット 4個



- ※3m用
▲高圧延長コードFセット
(3m4,000円・5m5,000円)
①高圧延長コード
②コードリフターF
(3m/6個・5m/9個)

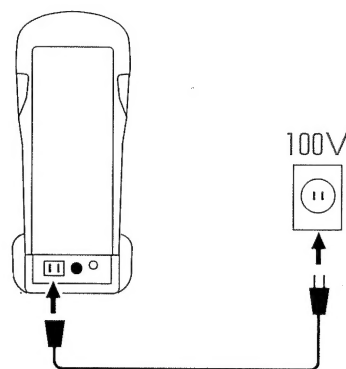
便利な収納ボックス

コードやリモコン、電子ローラーなど付属品を収納できるボックスを本体後面に設けました。



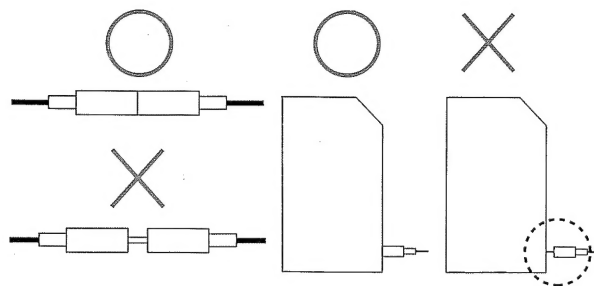
●まずはじめに

- 本体を倒れないような水平な場所に置いてください。
- 電源コードを電源コード差込口に差し込み、もう一方をお部屋のコンセントに差し込んでください。



●絶縁シート・高圧コードについて

- 通電時に体が絶縁シートから出ないようにご使用ください。
折りたたんでもご使用できます。
- コードがしっかり接続されているか、再度ご確認ください。高電圧が流れますので不完全な接続は故障の原因となり危険です。



●通電シートについて

- 通電シートの上に身体の一部が触れていれば通電することができますが、できる限り身体が通電シートに密着する部分に置いてご使用ください。
- (通電シートを)たたんだ状態での使用はなさないでください。故障の原因となります。

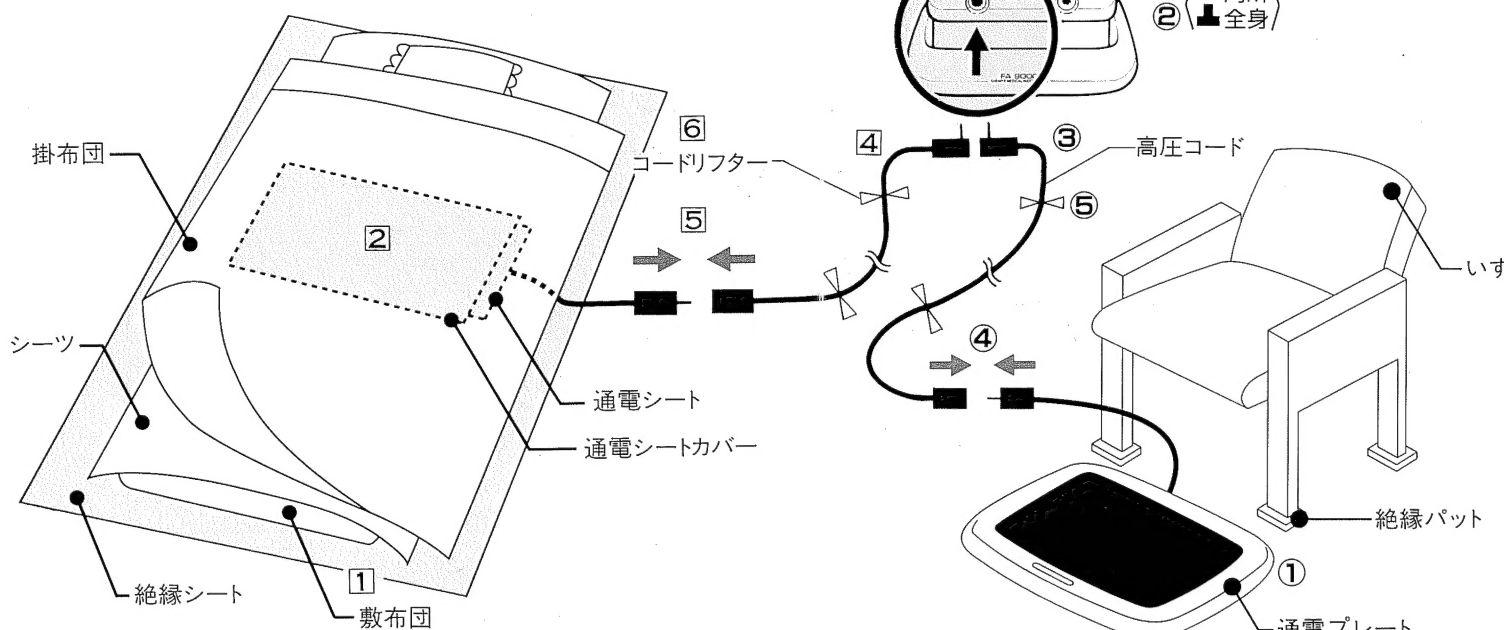
全身通電

通電シート

準備手順

- ①絶縁シートの上に敷布団を敷いてください。
- ②通電シートを通電シートカバーに入れ、敷布団とシーツの間に置いてください。
- ③全身、局所負荷切換スイッチの確認、**全身**と出ている場合が全身用です。
- ④高圧コードを全身高圧出力口の奥まで完全に差し込んでください。
- ⑤通電シートと高圧コードをつないでください。
- ⑥高圧コードが床から浮くようにコードリフターを取り付けてください。

9ページの基本操作手順に移ってください。

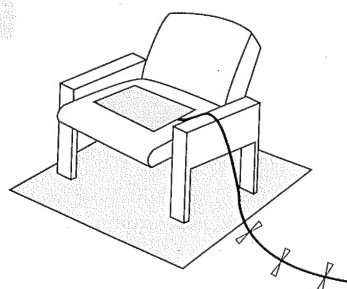


※絶縁パットをご使用の場合は通電プレートより外に足を出さないでください。

通電シート

(いすに座ってご使用の場合)

- ①絶縁シートの上にいすを置いてください。
 - ②通電シートカバーに通電シートを入れ、いすの上に置いてください。
- ※以後の手順は上の③～⑥と同じです。

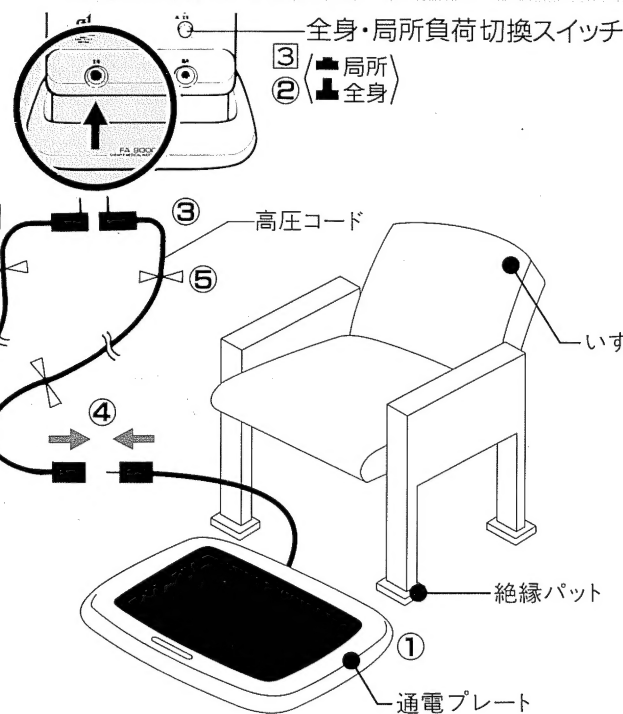


通電プレート

準備手順

- ①通電プレートといすを置いてください。
(いすの足の下に絶縁パットを置いてください。)
- ②全身、局所負荷切換スイッチの確認、**全身**と出ている場合が全身用です。
- ③高圧コードを全身高圧出力口の奥まで完全に差し込んでください。
- ④通電プレートと高圧コードをつないでください
- ⑤高圧コードが床から浮くようにコードリフターを取り付けてください。

9ページの基本操作手順に移ってください。

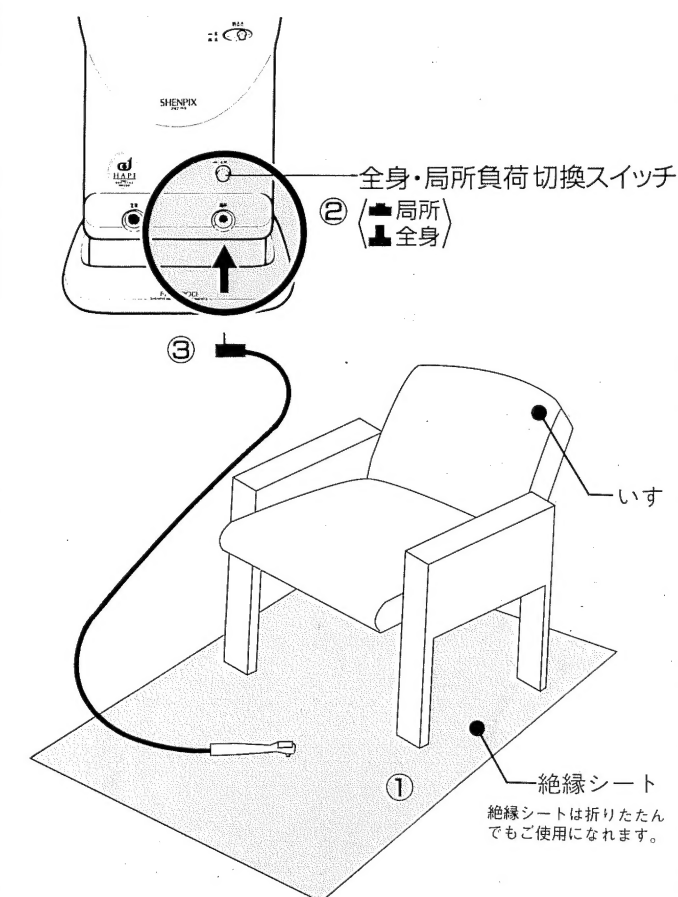


局所通電 (電子ローラー)

準備手順

- ①絶縁シートの上にいすを置いてください。
- ②全身、局所負荷切換スイッチの確認、**局所**と出ている場合が局所用です。
- ③電子ローラーのコードを局所高圧出力口の奥まで完全に差し込んでください。

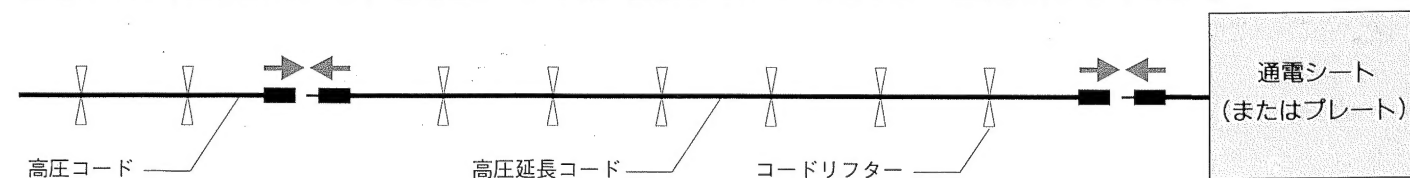
11ページの基本操作手順に移ってください。



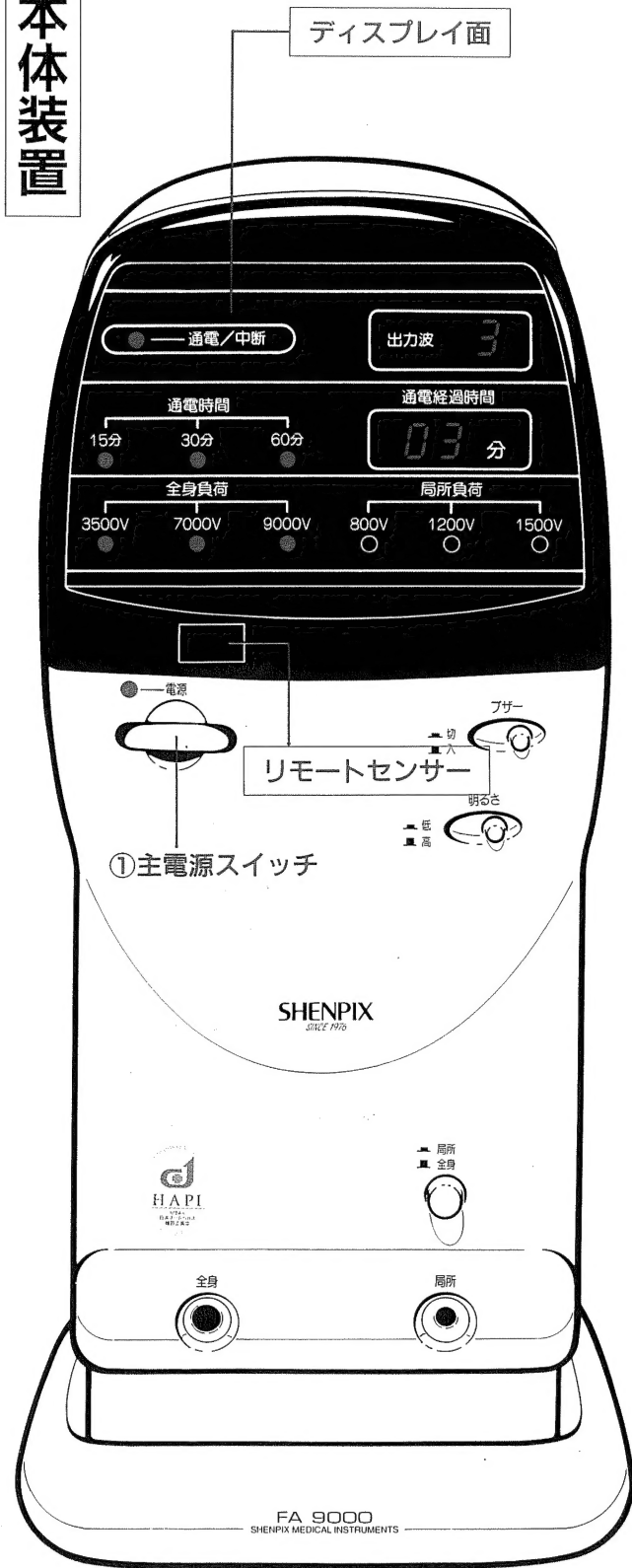
●(別売品) 高圧延長コードの接続 (3m・5m)

本体から離れてご使用になる場合

通電シート (またはプレート) と高圧コードの間に接続して、コードリフターを取り付けてください。



本体装置



●リモコンの使用範囲は本体のリモートセンサーより直線で5m以内です。

基本操作手順

①主電源を入れる

主電源スイッチを押してください。左上にランプが点灯します。

通電できるよう通電シートに身体を密着させ又は通電プレートに足をのせてください。リモコン操作に移ってください。

リモコン操作

②全身負荷(出力電圧)の選択

3500V・7000V・9000Vより選びスイッチを押してください。ディスプレイ面に選んだ電圧(V)の下にランプが点灯します。

③出力波の選択

1・2・3より選びスイッチを押してください。ディスプレイ面に選んだ出力数字が表示されます。

④通電時間の選択

15分・30分・60分より選びスイッチを押してください。ディスプレイ面に選んだ時間(分)の下にランプが点灯します。経過時間は通電が開始されると表示窓に1分ごとにカウントアップされます。セットした時間が経過すると自動的に通電がストップします。

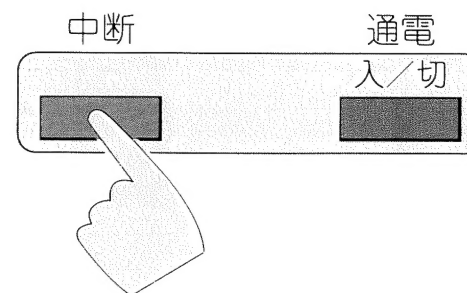
⑤通電開始

①～④の設定終了後、通電〈入/切〉スイッチを押してください。ディスプレイ面の通電/中断ランプが点灯し、通電が開始されます。

●出力電圧・出力波・通電時間は通電中には変更できません。

通電を中断(休止)したい場合

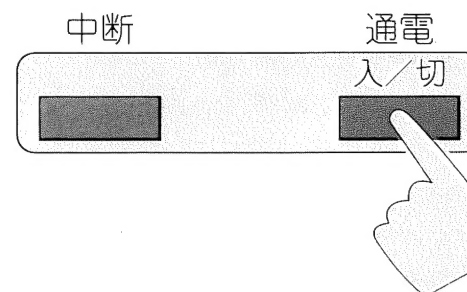
中断のスイッチを押してください。ディスプレイ面の通電/中断ランプと通電経過時間ランプが点滅します。通電を再開したい場合は再度中断スイッチを押してください。点滅が点灯に変わり、残り時間の通電が再開されます。



ご注意 ●長時間中断のままの状態にはしないでください。

通電を止めたい場合

通電〈入/切〉スイッチを押してください。通電がストップし、通電/中断ランプも消えます。以後、通電を開始したい場合は②より始めてください。



本体前面操作部

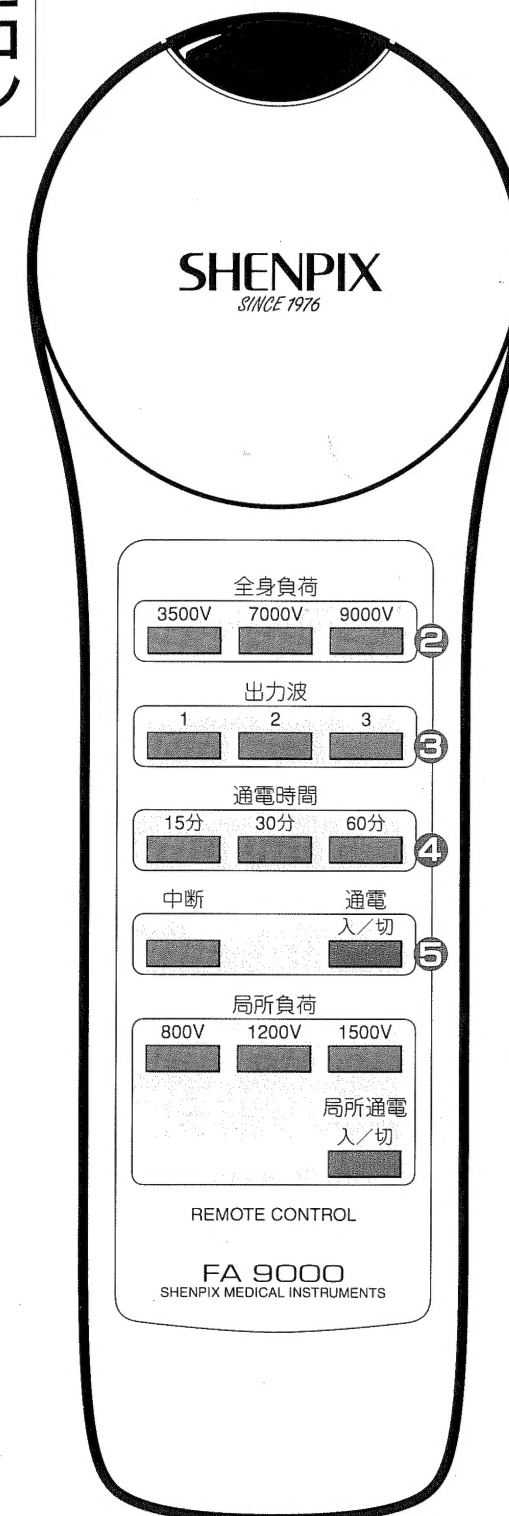
ブザースイッチ

▲と出たままだと入力操作時及び通電終了時にピピッというブザー音が鳴ります。
■と押すと通電終了時のブザー音が消えます。

表示画面の明るさ表示スイッチ

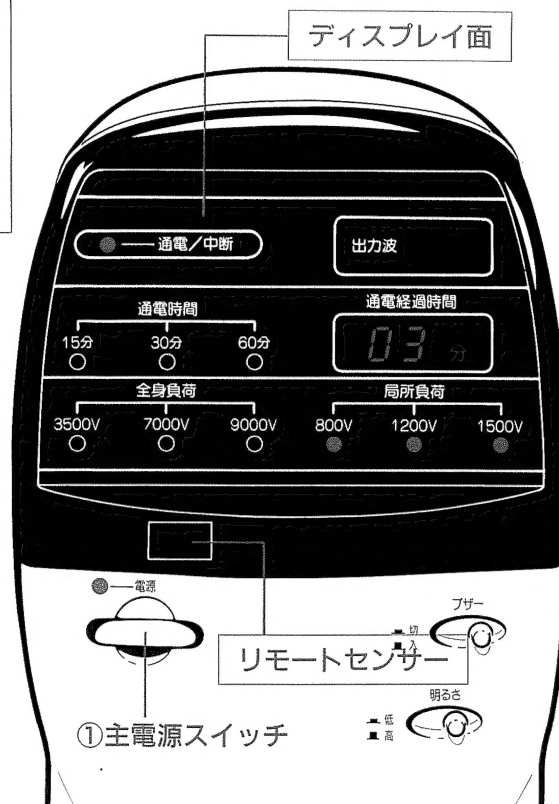
▲と出たままだと明るく、■と押すと暗くなります。

リモコン



●リモコン送信機には同梱の単3乾電池2個をセットしてご使用ください。(入れ方は13ページ参照)

本体装置



基本操作手順

①主電源を入れる

主電源スイッチを押してください。左上にランプが点灯します。

電子ローラーを手元に置き(又は絶縁シートの上)リモコン操作に移ってください。

リモコン操作

②局所負荷(出力電圧)の選択

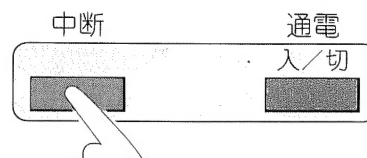
800V・1200V・1500Vより選びスイッチを押してください。
ディスプレイ面に選んだ電圧(V)の下にランプが点灯します。

③通電開始

局所通電のスイッチを押してください。ディスプレイ面の通電/中断ランプと通電経過時間ランプが点灯し、通電が開始されます。同一局部2～3分の目安でご使用ください。

通電を中断(休止)したい場合

中断のスイッチを押してください。
ディスプレイ面の通電/中断ランプと通電経過時間ランプが点滅します。
通電を再開したい場合は再度中断スイッチを押してください。点滅が点灯に変わり、残り時間の通電が再開されます。



通電時間

局所通電は5分で自動的にストップします。ディスプレイ面の通電/中断のランプと通電経過時間ランプも同時に消えます。
通電経過時間は表示窓に1分ごとにカウントアップされます。

通電を止めたい場合

局所通電のスイッチを再度押すとディスプレイ面のランプも消え、通電もストップします。



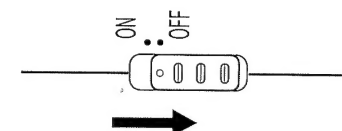
電界式検電器は、身体が高圧電界におかれているかどうかを確認するために使用します。
使用方法は簡単ですが、操作を間違えないようにお使いください。

操作方法

点灯するランプ、ブザー音が通電のサインです

●電界式検電器の使用法は、通電中の身体に直接または近くにあてることによって電界を検知し、ブザー音またはランプで通電を確認します。

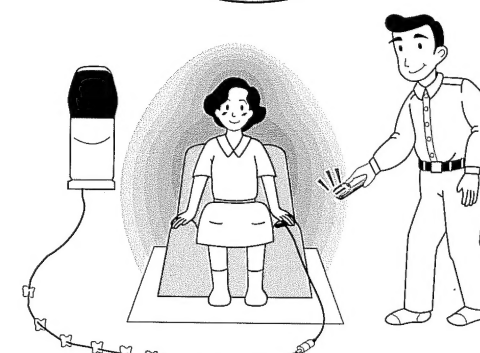
ブザー音を消したいときは、スライドスイッチをOFFにしてください。ランプのみが点灯し、ブザー音は鳴らなくなります。



ひとりで使用する場合
(検電器を手に持ち、先端が身体に触れないようにご使用してください。直接触れますと正確には検知できません。)



直接触れることで電界を検知する場合
(通電されている方からできるだけ離れた所に立ち、検電器をあててください。)



離れたところで電界を検知する場合
(通電されている方からできるだけ離れた所に立ち、身体に近づけてください。また、直接触れるよりは反応は弱くなります。)

- ご注意
1. 本器は電気を使用していますので、天候や環境、使用状態などにより検電器の感度変化しますが、故障ではありませんので安心してお使いください。
 2. 通電していない場合は、ランプは点灯しませんし、ブザー音も鳴りません。
 3. 本器は、電位治療器以外には使用しないでください。故障の原因になります。

■仕様 シェンペクスFA9000

医療用具承認番号20600BZZ00844000号

定格電圧	AC100V	出力電圧	全身/3500V、7000V、9000V
消費電力	13W		局部/ 800V、1200V、1500V
定格周波数	50-60Hz	外形寸法	幅210×奥行340×高さ473(mm)
タイマー	15分、30分、60分	総質量	本体9.4kg

本製品の仕様は製造改良により、予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。

乾電池の入れ方

⚠ 電池使用上のご注意

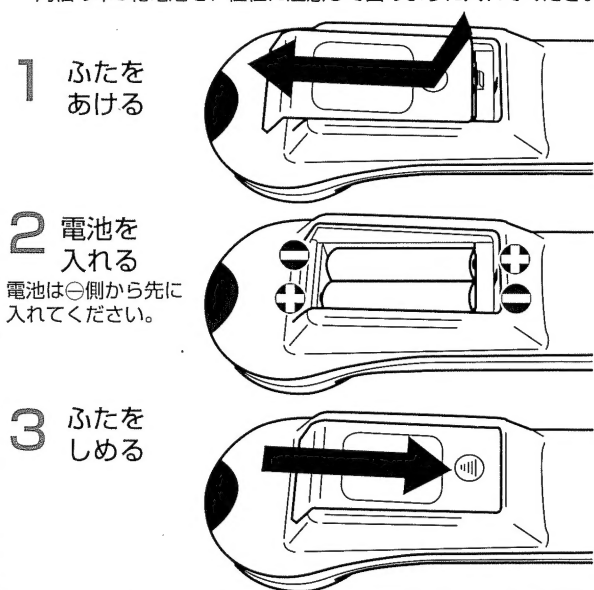


電池の破裂や液もれを防ぐため、次のことをお守りください。
※火災の原因となることがあります。

- 種類の違うものや新・旧混ぜて使わないでください。
⊕、⊖ の極性をまちがえないように確実に入れてください。
- 長時間で使用にならない場合は、中の電池は取りはずしてください。
- 使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしないでください。
- 分解はしないでください。

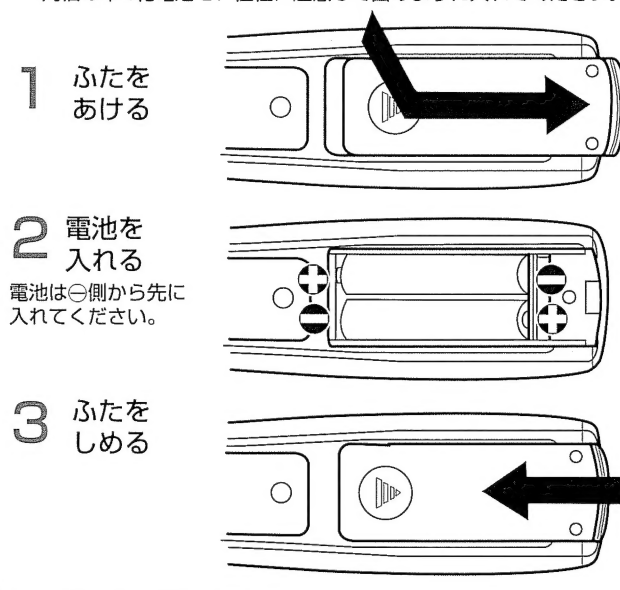
リモコン

同梱の単3乾電池を、極性に注意して図のように入れてください。



電界式検電器

同梱の単4乾電池を、極性に注意して図のように入れてください。



お手入れと保管の仕方

お手入れ



- 本体、付属品の汚れ落としは、柔らかい布で軽くふきとってください。
- プラスチックが多く使われているので、ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。
- 汚れがひどい時は、水にうすめた中性洗剤にひたした布をかたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
水滴などが内部に入ると、故障の原因になります。
- 通電シート・絶縁シートの乾燥は陰干しにしてください。

保管

次のような場所の保管はおやめください。



- 高温多湿、直射日光の当たる場所には置かないようにしてください。
- ホコリや塩分、硫黄分など悪影響のおそれのある場所には置かないようにしてください。
- 水にぬれるおそれのある場所には置かないようにしてください。
- 油煙や湯気があたる場所には置かないようにしてください。
故障の原因となります。

故障とお考えになる前に

もう1度、点検してください。

本体の場合

スイッチを入れたとブーンという音をする	<input type="checkbox"/> 高圧コードが柱・床・壁などに触れていませんか？ コードリフターをしっかりと取り付けてください。
電源が入らない	<input type="checkbox"/> 電源コードがはずれていませんか？ 本体の電源コード差込口と、家庭用コンセントにしっかり差し込んでください。 <input type="checkbox"/> 主電源スイッチを押しましたか？
リモコンのスイッチが入らない	<input type="checkbox"/> 全身・局所切換えスイッチはどうなっていますか？ ⬆と出ている場合は全身用、 ⬆と押している場合は局所用です。 <input type="checkbox"/> 主電源スイッチを押しましたか？ <input type="checkbox"/> リモコンをリモートセンサーにむけていますか？ リモコン使用はリモートセンサーより5m以内です。 <input type="checkbox"/> 出力電圧・出力波・時間設定の選択をしましたか？ 通電（入/切）スイッチを押すまえに選択してください。 <input type="checkbox"/> 電池が消耗していませんか？ 新しい電池と交換してください。 <input type="checkbox"/> 電池が正しく入れられていますか？ 乾電池の入れ方13ページを見てください。 <input type="checkbox"/> リモートセンサーに蛍光灯の光や強い照明光が当たっていませんか？
高圧出力が出ていない	<input type="checkbox"/> 高圧コードの接続は完全ですか？ 主電源を切ってから高圧コードと通電プレート・シートへの接続をしっかりとってください。

電界式検電器の場合

検電器の音が出ない (ランプは点灯する)	<input type="checkbox"/> スライドスイッチがON になっていますか？
音が出ずランプが点灯しない (※12ページの「ご注意-2」で説明している場合は点灯しません)	<input type="checkbox"/> 電池が消耗していませんか？ 新しい電池と交換してください。 <input type="checkbox"/> 電池が正しく入れられていますか？ 乾電池の入れ方13ページを見てください。

※万一故障の場合は、販売店に修理をご依頼ください。故障内容・製品名・製品番号・お買い上げ日もご連絡ください。



- お客様ご自身による修理は危険ですので絶対におやめください。